

アニマルトラッキングレシーバ

150MHz 帯 動物発信器専用受信機

LR-04

取扱説明書

サーキットデザインの動物生態調査用受信機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本機の性能を十分に発揮させるために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
アフターサービスなどについても記載していますので、この取扱説明書は大切に保管してください。
ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。

ご注意

本製品は防水製品ではありません

もくじ

もくじ ……2

- 1. 安全上のご注意 ……3
 - 1.1 安全上のご注意 ……3
 - 1.2 お願いとおことわり ……8
- 2. 機能と特徴 ……9
- 3. ベルトクリップについて ……10
- 4. アンテナ(オプション)について ……10
- 5. バッテリーについて ……10
- 6. 本体の充電 ……11
- 7. 各部の名称と操作 ……13
 - 7.1 本体 各部の名称 ……13
 - 7.2 画面内 各部の名称 ……14
- 8. 基本操作 ……16
 - 8.1 起動／終了 ……16
 - 8.2 CH(チャンネル)の変更 ……16
 - 8.3 チャンネルスキャン ……17
 - 8.4 モードの設定 ……18
 - 8.5 受信感度を変更 ……18
 - 8.6 音量 ……19
 - 8.7 f微調整 ……19
 - 8.8 スケルチ ……20
- 9. メニュー ……21
 - 9.1 メニュー表示 ……21
 - 9.2 メニューの選択／決定 ……21
 - 9.3 メニュー画面 ……22
- 10. 保守・参考 ……23
- 11. アフターサービスについて ……24
- 12. 定格 ……25

1. 安全上のご注意

1.1 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、複数の絵表示を用いています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表 示	表示の意味
 危 険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫っていることが想定されます。
 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性、および物的損害の可能性が想定されます。

図記号	表示の意味
	△記号は、注意(危険・警告含む)を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容が描かれています。
	○記号は、行為が禁止であることを告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
	●記号は、行為を強制、もしくは指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は AC アダプタをコンセントから抜け)が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因にて通信等の機会を失ったために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。



警告

■ 使用環境・条件



自動車等の運転中に受信機を操作したり、受信機の表示部を注視（表示部を見続ける行為）したりしないでください。交通事故の原因となります。

運転者が使用する際は、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

運転者が携帯型無線機を走行中に使用すると、道路交通法違反で罰せられます。



万一、故障・誤動作などが原因で人命や財産等に損害があっても、製造元および販売元は、その責任を負うものではありません。



この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。



赤ちゃんや小さなお子さまの手が届かない場所で使用、保管してください。
感電、けがの原因になります。

■ 受信機本体の取扱いについて



使用中や充電中、または保管中に、いつもより発熱しているなど異常と感じられた際は、使用を中止してください。

使用をつづけると、バッテリーパックの破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。



イヤフォンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。
聴力障害の原因になることがあります。



この受信機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。



布や布団で覆わないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。



水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。



水をかけたり、水が入ったりしないよう、水濡れにご注意ください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。



近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。

■ 充電器の取扱いについて



充電中に、いつもより発熱しているなど異常と感じられた際には、使用を中止してください。
使用をつづけると、バッテリーパックの火災、発火、破裂、発熱、液もれ、故障の原因になります。



指定以外の電圧で使用しないでください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。



充電 AC アダプタの電源は単独で使用してください。
タコ足配線は、加熱・発火・火災の原因となります。



ぬれた手で充電 AC アダプタに触れたり、抜き差しをしないでください。
感電の原因となります。



充電 AC アダプタを、AC コンセントに確実に差し込んでください。
充電 AC アダプタの刃に金具などが触れると、火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。



充電 AC アダプタの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。
ショートや加熱により火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。

■ 自動車等の USB ケーブル (Type-C) の使用について



ぬれた手で USB ケーブルに触れないでください。
感電の原因となります。

■ 異常時の処置について



以下の場合、すぐ本体の電源を OFF にして、充電 AC アダプタを AC コンセントから抜いてください。



異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
修理はお買い上げの販売店、または当社窓口にご依頼ください。



お客様による修理は、危険ですから、絶対にお止めください。

■ 異常な音が出たり、煙が出たり、変な臭いがするとき

■ 落としたり、ケースを破損したりしたとき

■ 内部に水や異物が入ったとき

■ 充電 AC アダプタのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）



雷が鳴り出したら、安全のため本体の電源を OFF にし、充電 AC アダプタをご使用の場合は、AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■ 保守・点検



本体のケースは、開けないでください。火災・発熱・感電・けが・故障の原因となります。
内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社にご依頼ください。



注意

■ 使用環境・条件



テレビやラジオの近くで使用しないでください。

電波障害を受けることがあります。

また、テレビやラジオに妨害を与える恐れがあります。



湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。

火災・発熱・感電・故障の原因となることがあります。



本製品の上に乗ったり、ものを置いたりしないでください。

落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になることがあります。



本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

けが、故障の原因になることがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



直射日光が当たる場所や空調機器の吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。
変形、変色、火災、故障の原因になることがあります。



調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となることがあります。



−20℃～ +60℃以外の環境では使用しないでください。
記載の温度範囲以外でのご使用は、故障の原因になることがあります。

■ 受信機本体の取扱いについて



アンテナを誤って目にささないようにしてください。



アンテナを持って、本製品を持ち運ばないでください。
故障や破損の原因になることがあります。



長期間ご使用にならない際には、安全のため必ず本体の電源を OFF にし、充電 AC アダプタをご使用の場合は AC コンセントから抜いてください。



イヤフォンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。
聴力障害の原因となることがあります。



針金などの細い棒で USB ポートやスピーカーの穴に触れないでください。
故障の原因になることがあります。

■ 充電器の取扱いについて



充電 AC アダプタを抜く際には、コードを引っ張らないでください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となることがあります。
必ず充電 AC アダプタを持って抜いてください。



充電 AC アダプタを熱器具に近づけないでください。
火災・発熱・感電・けが・故障の原因となることがあります。

■ 保守・点検



お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、充電 AC アダプタをご使用の場合は、AC コンセントから抜いてください。



柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、水を含ませた柔らかい布を固く絞って拭いてください。

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。

■ 外部電源使用時の注意



自動車のシガーソケットから電源を取る場合には、市販の自動車用シガープラグ(USB-C)をご使用ください。電流供給能力により充電できない場合がありますので、ご注意ください。



外部電源ケーブルの抜き差しは、必ず本体の電源を OFF にしてからおこなってください。



外部電源にスイッチング電源を使用した場合、スイッチングノイズの影響を受ける場合があります。

1.2 お願いとおことわり

・本機は厳重な管理の下に生産および出荷されますが、万一ご不審な点やお気付きの点がありましたら、可能な限りお買い上げいただいた販売店または弊社へご連絡ください。

・この取扱説明書は予告なく変更することがあります。

2. 機能と特徴

本機の機能・特徴は以下のとおりです。

- 当社の 150MHz 帯動物用発信器の専用受信機
- モード切替により、複数種類の弊社製発信器の受信に対応
- 発信器の個体識別番号を液晶画面に表示します
- Li イオンバッテリー本体内蔵の充電式
- 長時間(約 8 時間)の連続使用が可能 ※機器の設定条件による
- 受信電波が強いとき動物の位置探索に威力を発揮する 16 段階のアッテネータ(減衰器)機能搭載
- 受信電波の強弱を伝える電界強度表示機能搭載
- 探索する動物の発信器情報のチャンネルスキャン機能搭載
- 表示も見やすい大型液晶パネル搭載
- 充電コネクタ(USB-C)採用
- オートパワーオフ機能搭載

3. ベルトクリップについて

本パーツは、すでに本体に取り付け済みです。

注意:使っているうちにネジが緩んできてることがあります。適宜点検してください。

4. アンテナ(オプション)について

■ アンテナの取り付け方

- ①アンテナの根元を持ちます。
- ②アンテナ底面の溝と本体のアンテナコネクタの凸凹部を合わせて差し込みます。
- ③アンテナを時計方向(右)に回します。
- ④回転が止まったら、アンテナを確実に取り付けたことを確認します。

■ アンテナの取り外し方

アンテナを反時計方向(左)に回します。

■ 市販の外部アンテナ(八木アンテナ等)を取り付ける場合

本機側コネクタ(SMA)に対応する同軸ケーブルもしくは変換コネクタを使用して、本機と確実に接続をおこなってください。

5. バッテリーについて



本機はリチウムイオン電池を内蔵しています。

なお、内蔵電池のお客様による交換はおやめください。

本機を廃棄する場合は、自治体の指定方法に沿ってお願いします。

6. 本体の充電

バッテリーは、本体内蔵式です。

充電 AC アダプタ※1※2 を使用して、完全放電状態から約 5～8 時間※3 で充電できます。

※1 オプション販売の充電 AC アダプタ(USB-C)もしくは、お手持ちのスマートフォン用充電 AC アダプタ(USB-C)をご使用ください。

※2 電流が 1A 以上流すことが可能、且つ、電圧降下が少ない充電 AC アダプタをご使用ください。

※3 使用する充電 AC アダプタにより充電時間は変動します。

- ① ACアダプタ側のUSB-Cプラグを本体上面のUSB-Cポートに接続します。
- ② ACアダプタをコンセントに接続します。
- ③ 本体の充電ランプが赤色に点灯し、充電が始まります。
充電ランプが赤色と紫色の交互の点滅、もしくは紫色の点灯の場合は充電ACアダプタの電流供給能力が足りていません。
この場合は充電時間が長くなります。
- ④ 充電が終了すると充電ランプは緑に点灯します。

自動車のシガーソケットやUSB-Cポートからスマートフォン充電用のケーブルを使用して、受信機本体を充電することができます。
また、モバイルバッテリーを使用しての充電も可能です。
※ 使用する充電機器により充電時間は変動します。

充電しながらの運用は可能ですが、内部雑音が発生することがあり、Sメーターが振れたり、大きな雑音が聞こえることがあります。

※ 運用時の充電時間は、運用条件によって異なります。

※ 充電しながらの運用で、受信に影響があるときは充電をおやめください。



警告

- ・受信機本体を分解し、電池交換することは危険ですから、絶対におやめください。
- ・指定の充電時間以上、充電しないでください。指定の充電時間を経過しても充電を完了しないときは、ただちに充電を中止してください。バッテリーの破裂、発火や火災、発熱や発煙の原因になります。
- ・満充電後、すぐに再充電を繰り返さないでください。過充電になり、バッテリーの破裂、発熱、液もれの原因になります。
- ・USB-Cポートの端子は絶対にショートさせないでください。機器の損傷や、バッテリーの発熱による火傷の原因となることがあります。

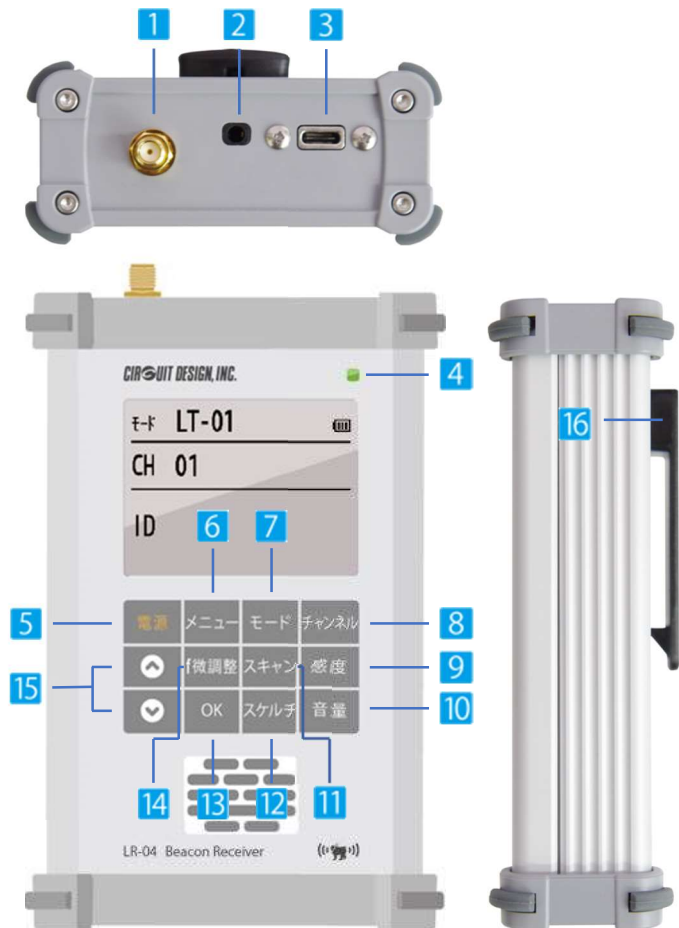
注意

- ・受信機は出荷時には満充電されておりません。お買い上げ後に充電してからご使用ください。
 - ・充電は0℃～40℃の温度範囲内でおこなってください。
 - ・充電ランプが青色の点滅の場合は充電エラーです。充電可能な温度範囲の環境下で充電してください。
 - ・必要以上の長時間の充電(過充電)はバッテリーの性能を低下させますので避けてください。
 - ・受信機に内蔵のバッテリーは消耗品です。所定の時間充電しても使用時間が著しく短い場合は、寿命が過ぎたものと思われるので、弊社へご相談ください。
 - ・PCのUSBポートより充電する場合や電圧降下の大きい充電ACアダプタやケーブルを使用する場合は、電流供給能力不足により充電できない場合があります。
 - ・本体バッテリーを満充電にした状態、または完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
- バッテリーの破裂、発熱、液もれ、サビ、性能や寿命の低下の原因になることがあります。
- ・長期間本体を保管する場合は、室温環境で湿気の少ない場所に保管してください。

7. 各部の名称と操作

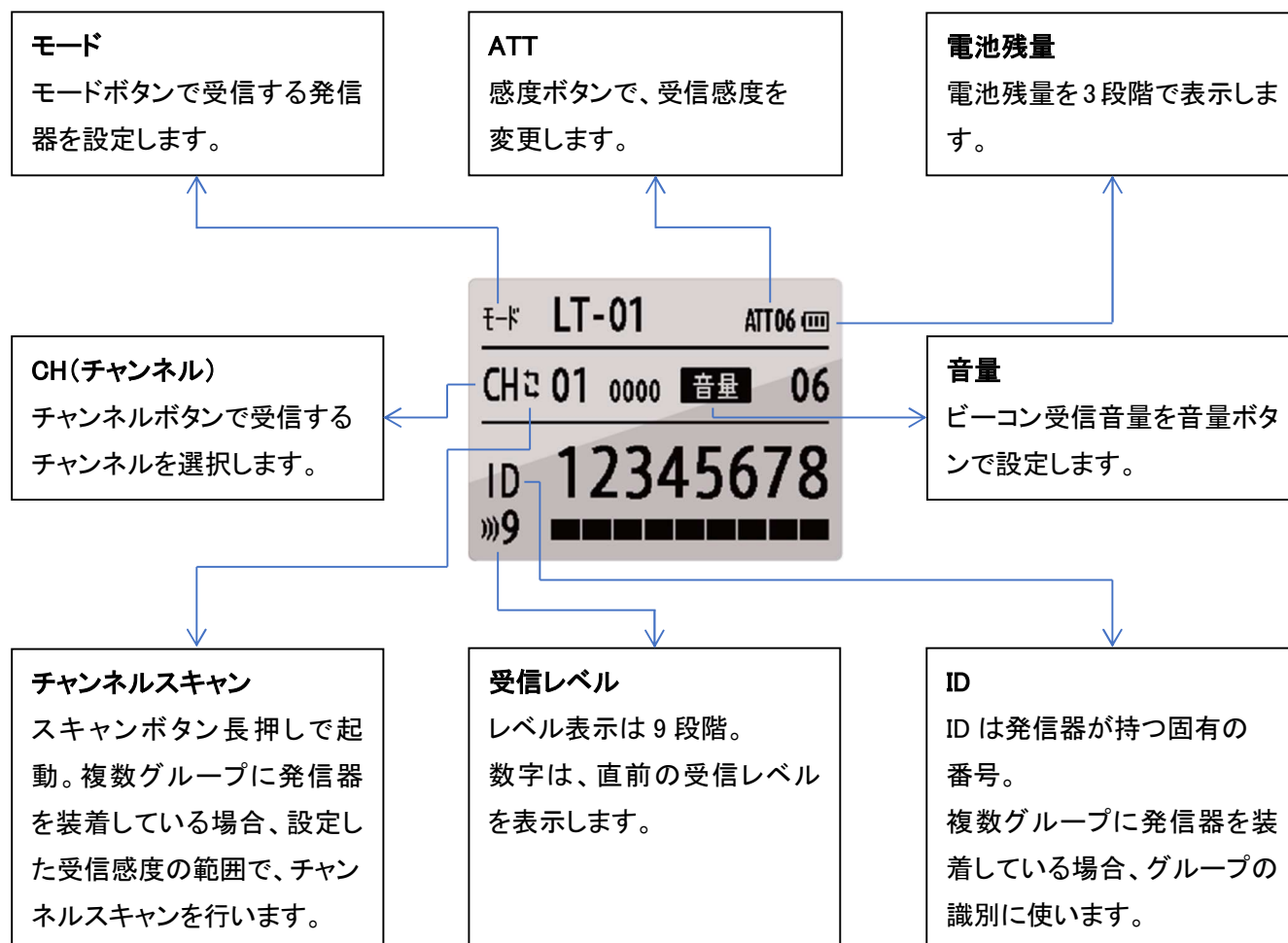
7.1 本体 各部の名称

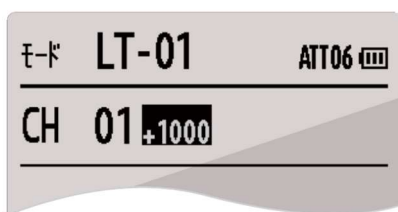
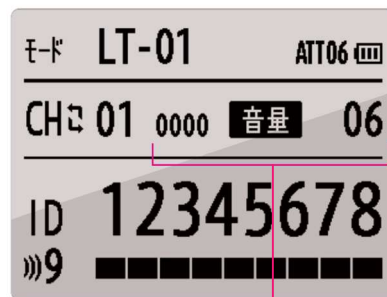
- 1 アンテナ接続コネクタ(SMA)
- 2 イヤフォンジャック
- 3 USB-Cポート
- 4 充電用ACアダプタ差し込み口
- 5 充電ランプ
充電状態をLED表示
- 6 電源
長押しで起動 / 再度の長押しで終了
- 7 メニュー
この機器の各種設定をします
- 8 モード
受信する発信器を設定
- 9 チャンネル
受信するチャンネルを設定
- 10 感度(ATT)
受信感度を設定
- 11 音量
スピーカー音量を設定
- 12 スキャン※
チャンネルスキャン(長押しで起動)
※出荷時はOFFになっています。利用するには、
「メニュー画面」のスキャンモード設定の項を参照して、
設定をおこなってください。
- 13 スケルチ
スケルチを設定
- 14 OK
メニュー設定で利用します
- 15 f微調整
受信周波数をずらすことができます
- 16 上下キー
各設定値をこのキーで上下できます
- 17 専用アンテナLA-03との接続フック
このフックを使いドッキング可能



7.2 画面内 各部の名称

LR-04の電源ボタンを長押しすると、メイン画面が表示されます。





f 微調整

f 微調整ボタンで周波数を
微調整



感度(ATT)

感度ボタンで調整
設定すると赤丸エリアに
ATT アイコン表示



スケルチ

スケルチボタンで調整

8. 基本操作

8.1 起動／終了

[電源]ボタンを長押しします。メイン画面が表示されます。

再度、[電源]ボタンを長押しすると本機は終了します。

運用稼働時間は約 8 時間※です。

※本体の設定内容による



8.2 CH(チャンネル)の変更

[チャンネル]ボタンで、受信するチャンネルを選択します。

※発信器を取り付けた自治体等に、事前に発信器の情報をお聞きください。

[チャンネル]ボタンを押す⇒[][]でチャンネルを変更

LT-01、LT-03、GLT-02 5波、LT-04ビーコン、DMT-01： 1～5CH

GLT-02 3波： 1, 4, 7CH

LT-02、LT-05 ： 1～18CH

[][]を長押しすると連続して変化します。



8.3 チャンネルスキャン

[スキャン]ボタン長押しで起動します。

注意: 出荷時はOFFになっています。利用するには、「6.メニュー」のスキャンモード設定の項を参照して、設定をおこなってください。

複数グループに発信器を装着している場合、設定した受信感度の範囲で、チャンネルスキャンをおこないます。



参考: 周波数表

LT-01、LT-03、GLT-02 5波、LT-04ビーコン、DMT-01

CH	中心周波数 (MHz)
1	142.940
2	142.950
3	142.960
4	142.970
5	142.980

GLT-02 3波

CH	中心周波数 (MHz)
1	142.940625
4	142.959375
7	142.978125

LT-02、LT-05

CH	中心周波数 (MHz)
1	142.934375
2	142.940625
3	142.946875
4	142.953125
5	142.959375
6	142.965625
7	142.971875
8	142.978125
9	142.984375
10	146.934375
11	146.940625
12	146.946875
13	146.953125
14	146.959375
15	146.965625
16	146.971875
17	146.978125
18	146.984375

8.4 モードの設定

[モード]ボタンで、受信する発信器を設定します。

※発信器を取り付けた自治体等に、事前に発信器の情報を聞いておいてください。

[モード]ボタンを押す⇒[] [] で受信する発信器の種類を変更

... ⇄ DMT-01 ⇄ LT-01 ⇄ LT-02 ⇄ GLT 5波 ⇄ GLT 3波 ⇄ LT-04ビーコン ⇄ DMT-01 ⇄ ...

モード名	対応機器
LT-01	LT-01,LT-03
LT-02	LT-02, LT-05
GLT 5波	GLT-02/03 旧電波法対応機種
GLT 3波	GLT-02/03/04 新電波法対応機種
LT-04ビーコン	LT-04
DMT-01	DMT-01※

※NATEC製ドッグマーカー、罨用発信機に対応しています

ご注意:

発信器LT-04とLT-05:ビーコン音の受信のみで、ID表示機能は
ございません。



8.5 受信感度を変更

[感度]ボタンで、受信感度を変更します。

ビーコン音をハッキリ聞きたいとき、感度を下げるとノイズ
レベルが下がり聞きやすくなります。

[感度]ボタンを押す⇒[] [] で感度を変更

感度は、00～-15(16段階)の範囲で調整できます。

[] [] を長押しすると連続して変化します。



8.6 音量

[音量]ボタンで、ビーコン受信音量を設定します。

[音量]ボタンを押す⇒[][]で音量を変更
音量は、00～30(ミュート+30段階)の範囲で調整できます。
[][]を長押しすると連続して変化します。



8.7 f微調整

[f微調整]ボタンで、受信する中心周波数を調節します。
微調整することで、受信感度が変化します。

[f微調整]ボタンを押す⇒[][]で微調整
受信する周波数は、下記の表の範囲で調整できます。
[][]を長押しすると連続して変化します。

モード	調整範囲
LT-01 GLT-02 5波 LT-04ビーコン DMT-01	-2000Hz～+2000Hz
LT-02 GLT-02 3波	-900Hz～+900Hz



8.8 スケルチ

スケルチとは、一定レベル以上の信号を受信したときだけ、スピーカーから音を出す機能です。受信信号がないときにスピーカーから聞こえる耳障りな「ザー」というノイズを聞こえなくするもので、信号の待ち受けがしやすくなります。

スケルチのレベルを上げると強い信号は受信できますが、弱い信号は受信できなくなります。信号を受信して音を出すことを「スケルチが開く」と呼び、逆の場合を「スケルチが閉じる」と呼びます。どの程度の強さの信号を受信したときにスケルチが開くかは、スケルチの設定レベルで決まります。スケルチの設定レベルは受信場所や受信周波数などの条件によって若干変化するため、調整できるようになっています。

[スケルチ]ボタンを押す⇒[] [] でレベルを変更

スケルチレベルは、00～09 (OFF + 9段階) の範囲で調整できます。

スケルチを常に開いた状態にしたいときは、スケルチレベルを00にします。

また、スケルチボタンを長押ししている間はスケルチ機能を無効にします。

スケルチレベルが01以上の場合、スケルチレベルが00のときの受信音と異なります。これは本機の仕様になります。受信音をクリアに聞きたい場合は、スケルチレベルを00にしてください。



9. メニュー

9.1 メニュー表示

メニューボタンを押し、メニュー画面に切り替わります。

設定メニューは2画面あり、本体の上下ボタンで切り替えできます。



9.2 メニューの選択／決定

上下キーで各メニューを選択、OKボタンで設定値を選択できます。

設定値の確定はOKを押すか、本体のいずれかのボタンを押すと確定します。



9.3 メニュー画面

各部の機能は以下のとおりです。以下のメニュー表示画面の設定値は、工場出荷時のものです。

メニュー画面の終了は、メニューボタンを押すと、メイン画面に戻ります。

(電源、上下キー以外のボタン押下でも同様にメイン画面に戻ります)

終了		1/2	
キー操作音	2		キー操作音 音量4段階とOFF(無音)
オートパワーオフ	OFF		オートパワーオフ 一定時間無操作(10分間)で自動電源OFF
バックライト	2		バックライト 4段階の明るさ調整
初期化	しない		初期化 実行すると、工場出荷時に戻る

		2/2	
液晶表示色	1		液晶表示色 3色 (1:白(工場出荷時), 2:黒, 3:青)
スキャンモード	OFF		チャンネルスキャンモード
スキャンレベル	6		スキャンレベル 9段階

スキャンモード設定

2/2

液晶表示色	1
スキャンモード	2.5秒 レベル検出
スキャンレベル	6

[レベル検出モード / 2.5秒, 5秒]

任意で設定したスキャンレベル(受信感度)に応じて、チャンネルをスキャンします。
受信したチャンネルで、スキャンが終了します。

		2/2
液晶表示色	1	
スキャンモード	5秒	連続
スキャンレベル	6	

[連続モード / 2.5秒, 5秒]

連続してチャンネルスキャンをおこないます。
受信したチャンネルがあっても、次のチャンネルへ移動します。

10. 保守・参考

症 状	原 因	処 置
電源を入れても、ディスプレイには何も表示されない。	電池が消耗している。	充電をおこなう。
	電源スイッチを離すのが早すぎる。	電源スイッチを少し長めに押す。
スピーカから音が出ない。	音量が低すぎる。	適切な音量に設定する。P19
	スケルチレベルが高すぎる。	適切なレベルに設定する。P20
表示が異常になっている。	CPU が誤作動している。	弊社窓口へご相談ください。
チャンネルスキャンができない。	スキャン設定に設定していない。	メニューから設定する。P22
受信レベルが弱い	受信感度が弱い	適切な感度レベルに設定する。 P18

■ クリーニングの方法

・ケースやアンテナ等の機構部品

パソコンやビデオ、デジタルカメラ等デリケートな家電製品やメガネを清掃するために発売されているクリーナやブラシ、クロス等が当製品にもお使いいただけます。

USB-Cポートやイヤフォンジャック穴、スピーカにはホコリがたまりやすいので、慎重に汚れを取り除いてください。

11. アフターサービスについて

■ 保証期間

お買い上げの日より1年間です。

正常な使用状態で上記の期間中に万一の故障が生じた場合は、お買い上げいただいた販売店または弊社窓口へご相談ください。規定にしたがって無償で修理いたします。

■ 保証期間が経過した場合

お買い上げいただいた販売店または弊社窓口へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有償で修理いたします。

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた販売店または弊社窓口へご相談ください。

■ 製造終了製品に対する保守年限に関して

製造終了製品に関しては、下記の一定期間保守部品を常備しております。

しかし、不測の事態により在庫が無くなる場合もあり、修理がおこなえないこともありますのでご了承ください。

※補修用部品の保証期間は、製造終了後5年です。

12. 定格

■一般定格

受信周波数	動物位置検知システム周波数完全対応 142MHz帯、146MHz帯
公称電圧	3.7V
作動時電流	300mA以下
暗電流(電源オフの待機時平均値)	20 μ A以下
内蔵使用電池	リチウムイオン電池 電池容量: 3200mAh ※温度センサー付き2次電池 ※電池は内蔵式ですのでお客様では交換できません
運用稼働時間	約8時間 ※本体設定内容による
充電時間	約 5～8 時間 ※使用する充電 AC アダプタにより充電時間は変動します。
アンテナ方式	外部アンテナ ※SMAコネクタにて接続
受信感度	-120dBm ※ビーコンが認識できるレベル
充電 電圧	5V(USB)
充電 電流	100／650mA ※大電流と小電流のピーク値
使用温度範囲	-20～+60℃
寸法	本体: 136 × 89 × 39mm ※アンテナ、突起部含まず
重量	約365g
付属品	ファーストステップガイド
オプション販売品	ホイップアンテナ、充電ACアダプタ(USB-C)